

# Printer FAX Driver Security Program インストーラー手順

Ver1.3.1 向け

msiファイル名 : PrinterFAXDriverSecurityProgram.msi

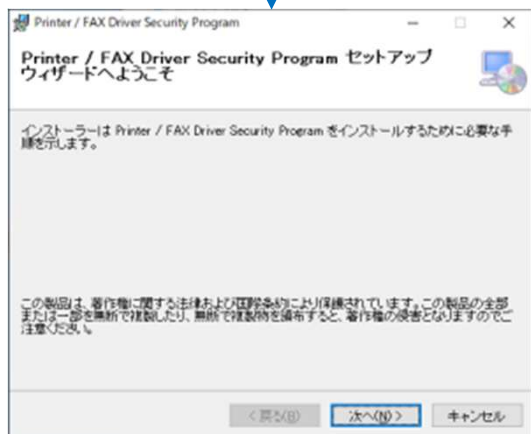
対象OS : Windows 7 / 8.1 /10 Windows  
Server 2008(R2) / 2012(R2) / 2016 /2019  
**MSIの画面表示は、全てのOSで日本語表記となります**

本脆弱性の対象のプリンタードライバーに適用されます。

# 画面遷移

PrinterFAXDriverSecurityProgram.msi

(実行)



※再インストール時はこの画面は表示されない

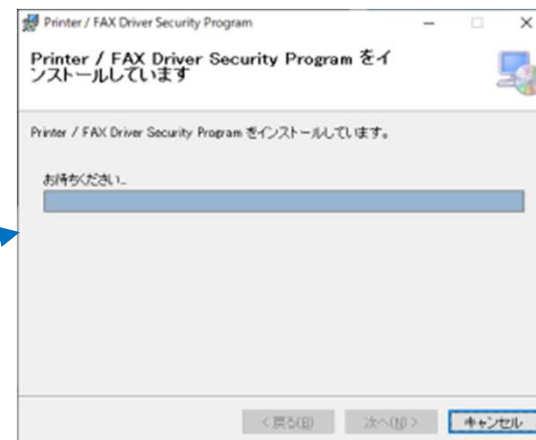
(次へ)



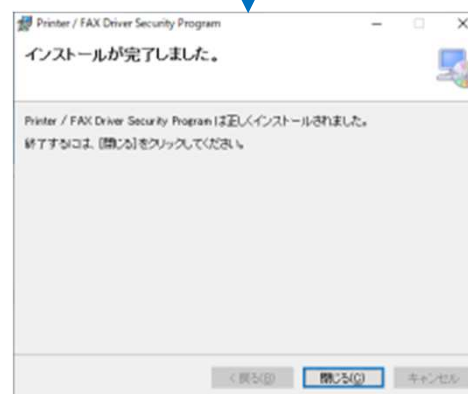
※管理者ユーザーのパスワードを入力  
※管理者でログイン・実行した場合には表示されません

(Yes)

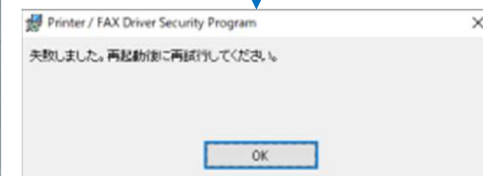
※セキュリティの適用処理  
・アクセス権変更  
・DLLコピー(古いDLLが配置されている場合のみ)



成功



失敗

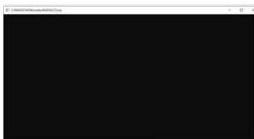


失敗するケース  
・アクセス権の変更に失敗

## サイレントインストール方法

1. 管理者権限でコマンドプロンプトを開きます
2. 以下のコマンドを実施します  
>msiexec /i "PrinterFAXDriverSecurityProgram.msi" /quiet  
※” “内は、ダウンロード頂いたファイルのフルパスで入力してください。  
例) "C:¥temp¥PrinterFAXDriverSecurityProgram.msi"

- ・インストールの途中で黒い画面が表示されます。  
閉じずにそのままお待ち下さい。  
セキュリティの適用処理を実施します。
- ・セキュリティの適用処理完了後、黒い画面が自動で閉じます。



## パッチがインストールされているか確認する方法

コントロールパネルのプログラム一覧に表示されます

名前	発行元	バージョン
Printer FAX Driver Security Program	RICOH	1.3.1

## 再インストールする方法

- ・初回インストールと同じ操作を実施してください。  
セキュリティが再適用されます。



- ※右クリックして表示される、  
インストール・修復はどちらを選んでも同じです  
セキュリティが再適用されます。

- ・再インストール前に、プログラム一覧から削除しておく必要はありません。
- ・再インストールした場合、プログラム一覧に重複して登録されません。

## アンインストール方法

コントロールパネルのプログラム一覧からアンインストールする、または、MSIを右クリックして「アンインストール」選択で削除します。

- ・アンインストールも管理者権限が必要です。
- ・プログラム一覧から削除を実施しても、MSIインストール時に適用したセキュリティ設定が元に戻る事はありません。



## 注意事項

1. MSIのインストールには管理者権限が必要になります
2. ドライバーアップデートを行った場合にはPCを再起動後、再度Security Programを実行してください。
3. Security Patch Program実行後、失敗した場合や印刷ができないなどの症状が出た場合にはPC再起動を行い、再度Security Patch Programを実行するか、あるいはドライバーを再インストールしてからSecurity Patch Programを実行してください
4. 複数のドライバーがインストールされている場合、1つのPCでは、1度だけ実施すれば対策できます。  
新たにドライバーをインストールした場合は、再度MSIファイルを実行してください。
5. Windows Server 2008では、起動時に認識できない発行元という表示が出る場合があります。(図1)

(図1) Windows Server 2008  
での警告画面

